

**杵築神社**

おおくにのみのすくね すがらのまつられているのは大国主命、野見宿弥、菅原道真などです。昔は多気明神といわれ、今は「竹の宮」ともよばれています。昔から異相撲とよばれるけんが相撲で広く知られていて、「荒浪」「一つ石」「岩崎九兵衛」という力士のお墓が今も残っています。



行った日



**清水山窯跡・供養碑**

たくさんの須恵器や布目瓦のかげら、登り窯の一部が発見されて、焼き物をつくる窯の跡だったことが確認されています。小高い場所に建てられている供養碑には、正面に「南無妙法蓮華経、日蓮大菩薩」と彫られています。



行った日



**若王子神社**

伊弉册神がまつられています。慶長年間(1596~1615)に建てられました。本殿は一間社春日造で、市の文化財に指定されています。石の鳥居は明和2年(1765)に建てられました。手水鉢は昭和3年(1928)におさめられたものです。大きな杉の木は市の天然記念物に指定されています。



行った日



**善照寺**

真宗大谷派のお寺です。はじめに天台宗の道場があり、15世紀中ごろに浄土真宗の道場ができたといわれています。子道という人が開きました。東どなりの山のふもとで田畑には代官屋敷とよばれているところがあります。



行った日

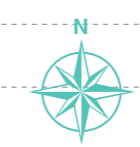


**通宝山弥勒寺**

書写山円教寺を開いた性空上人が長保2年(1000)に建てた小さな庵が始まりです。今の本堂は天授6年(1380)に赤松義則が建て直したものです。本堂とそこにある弥勒仏、左右の持仏は国の文化財に指定されています。平成6年(1994)、播州夢前七福神の一番目の札所として、高さ5mの布袋さまがつくられました。



行った日



調べたこと、  
わかったことを  
書いてみよう!



65 菅生地区

ふちおうけつ どんどヶ淵窟



大きな布袋さまがいる弥勒寺は「播州夢前七福神霊場」の札所です。「七福神」は7人の福の神さまのことです。どんな神さまがいるのか調べてみましょう。

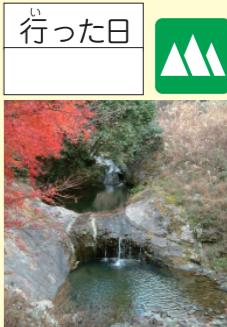


- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 500m 1km

ふちおうけつ どんどヶ淵窟

夢前町高長から流れ出た水が2mの滝となり、水の流れ、長い方は幅8.5m、短い方は幅5.3m、深さ約3mのた円形の大きな穴が二つあいています。「底は岡村の穴淵とつながっている」、「かっぱが住んでいる」などの言い伝えがあります。



行った日



ひがしあらき なまが ようすい 東荒木七曲り用水

水不足に悩まされた荒木の人たちが、奥に新しい池をつくり、そこから七曲りの道に沿って1km以上もある用水路をつくりました。新しい池の水は山の尾根や谷を回って流れていて、さらに山をこえて北山の貯水池に入り、そこから田んぼへ水が送られています。

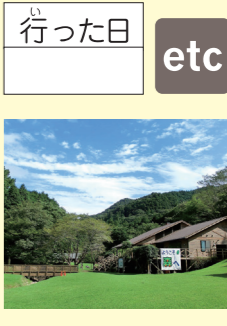


行った日

etc

もりこうえん ゆめさきの森公園

平成15年(2003)に開園しました。通宝寺池を中心に約180haの広さがあり、農地、集落、ため池、林が一緒になった昔ながらの里山の公園です。里山のことを勉強し、楽しむ場所として親しまれています。



行った日

etc

ようくろういけ すごうみんかん 要九郎池・菅生公民館(旧フレンデ)

油押の大きな池です。昔、この池をつくる時、要九郎という力持ちの男が大いに力をつくしたといわれています。この池の一部を埋め立てて、ふれあいの館「フレンデ」が建てられました。平成28年(2016)4月からは菅生公民館となっています。



行った日

etc

よなじぞう 夜泣き地蔵

清水峠の頂上近くにあるお地蔵さまです。このわき水を赤ちゃんに飲ませると、夜泣きが治るといわれていることから「夜泣き地蔵」とよばれています。いつも新しいお花やみずぞな水が供えられていて、線香の煙が絶えることはありません。



行った日

